



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年2月14日

上場会社名 株式会社宇野澤組鐵工所 上場取引所 東  
 コード番号 6396 URL http://www.unozawa.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 勉  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 田村 博 (TEL) 03-3759-4191  
 兼経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	3,863	1.2	308	536	311	559	205	432
29年3月期第3四半期	3,816	16.8	48	236	47	829	38	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
30年3月期第3四半期	185.63		—					
29年3月期第3四半期	34.83		—					

※平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	7,270	1,873	25.8
29年3月期	6,951	1,610	23.2

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 1,873百万円 29年3月期 1,610百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※30年3月期の期末配当予想は未定です。詳細は「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご確認ください。

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,290	△2.00	350	133.3	340	142.9	200	100.0	181.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成30年3月期の通期の業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細は「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年3月期3Q	1,120,000株	29年3月期	1,120,000株
30年3月期3Q	15,199株	29年3月期	15,118株
30年3月期3Q	1,104,869株	29年3月期3Q	1,104,957株

※平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数および期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想につきましては発表日現在の将来に関する見通し・計画に基づく予測が含まれており、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績が記載の予想数値と異なる場合があります。平成30年3月期の配当予想は未定であります。今後の業績等を総合的に勘案し配当額を決定次第、速やかに開示いたします。なお、上記業績予想に関する事項は添付資料2ページをご参照ください。

・株式併合後の業績予想について

平成29年6月28日開催の、第125回定時株主総会において、株式併合に関する議案が可決されたことにより、平成29年10月1日付で株式併合（10株を1株に併合）および単元株式数の変更（1,000株から100株に変更）を行っております。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の業績予想は以下のとおりとなります。

平成30年3月期の業績予想 1株当たり当期純利益 通期 18.10円

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

第3四半期累計期間における経済状況は、米国の政策動向やアジア地域の情勢不安から、海外は依然として先行き不透明な状態です。国内においては企業業績の回復、雇用や所得の環境改善が続いており、設備投資の増加に繋がっております。

このような経営環境のもと、当社の業績は売上高3,863百万円(前年同四半期は3,816百万円)となりました。損益面におきましては、営業利益308百万円(前年同四半期は営業利益48百万円)、経常利益311百万円(前年同四半期は経常利益47百万円)、四半期純利益205百万円(前年同四半期は四半期純利益38百万円)となりました。

セグメント別の概況は以下の通りです。

#### ① 製造事業

当第3四半期におきましては、半導体用シリコンウェハ及びフラットパネルディスプレイ向けや部品修理が引き続き好調に推移し、売上高は前年同四半期比25百万円(0.8%)増加の3,404百万円、損益面におきましては、セグメント損失43百万円となったものの前年四半期比237百万円の改善となりました。

売上高を製品別に示しますと、真空ポンプは1,983百万円(前年同四半期比1.1%減)、送風機・圧縮機は430百万円(前年同四半期比13.1%減)、部品は662百万円(前年同四半期比13.9%増)、修理は322百万円(前年同四半期比9.3%増)の結果となりました。

また、輸出関係におきましては、中国向け半導体関連が伸張しましたが、前年同四半期中東向けスポット案件の反落により513百万円(前年同四半期比14.8%減)となりました。

#### ② 不動産事業

オフィスビル賃貸市場の回復により、売上高は458百万円(前年同四半期比4.8%増)、セグメント利益351百万円(前年同四半期比6.8%増)の計上となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間の財政状態は、前事業年度末と比べ、総資産は318百万円増加し7,270百万円、負債は55百万円増加し5,397百万円、純資産は263百万円増加し1,873百万円となりました。

総資産の増加は、現金及び預金が145百万円増加したこと等が主な要因です。

負債の増加は、支払手形及び買掛金が146百万円増加したことが主な要因です。

純資産の増加は、利益剰余金が182百万円、その他有価証券評価差額金が80百万円増加したことが主な要因です。

この結果、自己資本比率は25.8%(前事業年度末は23.2%)となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は現在の事業環境下、入手可能な情報に基づき最善の経営方針を立案するよう努めておりますが、景気の先行きは不透明であり、当社を取り巻く事業環境は厳しい状況が続くものと予想されます。このような状況下、受注の確保・原価低減及び諸経費の削減に重点を置いた諸施策を実施するとともに、業務の質を高め、諸施策を迅速かつ確実に遂行し、環境変化に強い利益体質を確立するよう努めてまいります。

なお、平成29年10月24日発表の通期業績予想に変更はありません。業績予想を見直す必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,356,699	1,502,413
受取手形及び売掛金	2,138,964	2,127,624
たな卸資産	769,026	842,907
繰延税金資産	41,614	17,047
その他	18,701	20,436
貸倒引当金	△3,538	△3,880
流動資産合計	4,321,467	4,506,547
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,443,647	1,382,768
土地	631,643	631,643
その他(純額)	94,011	112,093
有形固定資産合計	2,169,302	2,126,505
無形固定資産	41,303	101,511
投資その他の資産		
その他	428,442	544,906
貸倒引当金	△9,037	△9,010
投資その他の資産合計	419,404	535,896
固定資産合計	2,630,010	2,763,913
資産合計	6,951,478	7,270,461
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,056,704	1,203,505
短期借入金	928,752	1,006,350
未払法人税等	29,211	62,406
賞与引当金	64,342	22,656
その他	286,841	312,628
流動負債合計	2,365,852	2,607,546
固定負債		
長期借入金	1,874,053	1,578,239
繰延税金負債	56,116	101,270
退職給付引当金	517,899	523,529
役員退職慰労引当金	131,020	137,770
その他	396,375	448,778
固定負債合計	2,975,464	2,789,587
負債合計	5,341,316	5,397,134

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	785,000	785,000
資本剰余金	303,930	303,931
利益剰余金	380,703	563,698
自己株式	△28,926	△29,162
株主資本合計	1,440,707	1,623,468
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	169,454	249,858
評価・換算差額等合計	169,454	249,858
純資産合計	1,610,161	1,873,326
負債純資産合計	6,951,478	7,270,461

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	3,816,973	3,863,159
売上原価	3,268,445	3,053,226
売上総利益	548,528	809,933
販売費及び一般管理費	500,091	501,503
営業利益	48,436	308,429
営業外収益		
受取利息	342	325
受取配当金	7,695	8,602
受取保険金	301	-
その他	19,341	19,183
営業外収益合計	27,682	28,111
営業外費用		
支払利息	27,623	24,027
その他	1,323	1,449
営業外費用合計	28,947	25,476
経常利益	47,171	311,064
特別損失		
固定資産除却損	793	201
固定資産売却損	110	-
特別損失合計	903	201
税引前四半期純利益	46,268	310,862
法人税、住民税及び事業税	3,547	71,499
過年度法人税等	4,233	-
法人税等調整額	-	34,269
法人税等合計	7,780	105,769
四半期純利益	38,487	205,093

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。